老人福祉センターいこいの里　未利用部分の利活用に関するアイデア募集の結果について

■募集期間　令和８年10月７日(水)～10月30日(金)午後５時

■受付方法　Logoフォーム、Eメール、窓口受付

■現地見学会　令和８年10月21日（水）午前９時～正午、午後１時～４時　（参加者　０人）

■受け付けたアイデア　３件（以下のとおり）

※個人情報、団体名は除いています。一部文言を整理・要約して掲載しています。

No	老人福祉センターいこいの里　未利用部分の利活用に関するアイデア（概要）
1	消費生活センターの調理場を使ってサークルで料理を作り楽しんでいます。 消費生活センターが解体されると活動場所が無くなるので、是非調理場を使わせてほしい。 仲間も、コミュニティセンターが解体されるので困っています。 立派な調理場を活用しないのは勿体ないと思います。 料理を食べて頂くのは無理ですが、蕎麦は人数限定で提供できるのでは？ その時は蕎麦屋さんにも声掛けして協力して頂くのも有りかも？
2	泊まれるミニ図書館（羽村図書館分室）にしてみてはどうか。 （安全管理やルールの規約をしっかり作る） 参考：他自治体の施設再利用の実例として実現していた。民間と企業とのコラボで運営していく形は、公共施設の老朽化問題の解決へのヒントも多く、他の施設再利用対応の参考にもなると思われます。
3	見て・聴いて・楽しめる「AI（人工知能）おしゃべり体験会」の実施 【アイデアの概要・実施目的】 地域のシニア世代の方々が最新AIの利便性や楽しさを安全・安心に体験できる場を提供します。 シニアの方々にAIへの興味を持っていただくと同時に、体験会をきっかけに参加者同士の会話が弾む「地域交流・孤立防止の場」を創出することを目的とします。 【具体的な実施方法・工夫】 　参加者にスマホやパソコンの操作を求めず、講師が手元のAIと音声対話し、そのやり取りを見聞きしていただくデモンストレーション形式で進行します。 ・AIとのやり取り（質問と回答の文字）をリアルタイムで大きなモニター画面に映し出します。 ・参加者からその場で募集した質問を講師がAIに投げかけ、大画面を見ながら、みんなで質問して楽しめる参加型の時間にします。 【利用希望スペース】 旧相談室（約21㎡・少人数向け）または 旧機能回復訓練室（約120㎡・大人数向け）などの既存スペースを活用し、備え付けの机や椅子をそのまま利用します。 【実施に関する行政に期待する支援・配慮事項・条件】 ・Wi-Fi環境の整備支援、（またはモバイル通信貸与） ・講師のPC機器の持ち込み ・やり取りの文字表示用として、施設内の大型モニター（またはプロジェクター・スクリーン）の貸与 ・大規模な設備工事や改修は行わず、現状の施設空間・備品をそのまま利活用して実施します。